

ザンビア支援 吉野川市のNPO

心臓手術4例全て成功

現地医師の執刀を指導

【ザンビア】乾柴里

【ザンビア】乾柴里 せた。

子】アフリカ南部ザンビアで心臓外科医の指導・育成に取り組みNPO法人「TICO」(吉野川市の医療チームは7日(現地時間)、4例全ての心臓外科手術を終えた。4例目は、動脈の血流に異常のある動脈管開存症(PDA)の解消手術で、現地医師の執刀で成功



PDA手術を指導する江川医師(左)
—ザンビア大付属教育病院

患者は1歳1カ月の女児プラダ・ピリちゃん。四国こどもとおとなの医療センター(香川県善通寺市)の江川善康医師(64)の指導で、ザンビア人のエドワード・ニンビリ医師(37)が執刀した。

PDAは生後間もなく閉じられるはずの動脈管が開いたままになっている疾患で、正常に血液が流れないため悪化すれば心不全を起す。ニンビリ医師は10センチほどメスを入れて開胸し、動脈管などを覆う「胸膜」を剥がし

て、開いたままの状態になっている動脈管を確認。手順などの助言を受けながら、医療用の糸で丁寧に縛って血管を閉じた。

約2時間半で手術を終えたニンビリ医師は「体が小さくて難しかったが、いい経験になった」と話した。手術にはTICOの看護師山崎恵子さん(33)も立ち会い、患者の容体管理などに当たった。

TICOの医療チームは4日から首都ルサカのザンビア大付属教育病院で、心房を隔てる壁に空いた穴をふさぐ心房中隔欠損(ASD)閉鎖手術など計4例を実施。患者の状態はいずれも良好で、回復に向かっていて、14日まで現地に滞在し、患者の術後管理に取り組む。